

氏名	近 藤 優
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 0 7 号
学位授与の日付	昭和47年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	Isolation and Identification of Hypnotics (睡眠薬の分離検出)
論 文 審 査 委 員	教授 山 崎 英 正 教授 水 原 舜 爾 教授 小坂二度見

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

睡眠薬はアルコールと混合されて使用される場合があり、この場合法医学上の睡眠薬とアルコールの検出はおのおの別々に分離検出されているが、著者はこれらが同時検出できれば實際上便利であり、有用であると考え、薄層クロマトグラフィーにより試験管内およびウサギを用いての実験において、その血液、尿ならびに胃内容物より同時検出をこころみた。すなわち睡眠薬とアルコール類の混合物よりエーテル中でアルコール類を3,5 ジニトロベンゾイルエステルとしてから抽出し、濃縮液を展開剤(a) Dioxane / Benzene / 28% NH_4OH (20 : 75 : 5) , (b) Cyclohexane / Carbon tetrachloride / Ethylacetate (10 : 75 : 15) とをもちい、Silica-Gel-G薄層板上に二次展開をおこなうと展開剤(a)では睡眠薬の分離が、また展開剤(b)ではアルコール類の分離検出ができることを知った。またこれを飲用せしめた動物実験においても試験管内実験とほぼ同様の R f 値をえ、分離検出できることを知った。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、法医学上問題になるアルコール併用時の睡眠薬の同時微量検出法を、アルコールのエステル化前処置を含む混合抽出液二次展開薄層クロマトグラフィー操作の考案によって達成し、数種の睡眠薬を共存アルコールとともに試験管内のみならず、投与動物の血液、尿、胃内容物から検出することに成功したもので、医学上価値ある業績である。よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。